

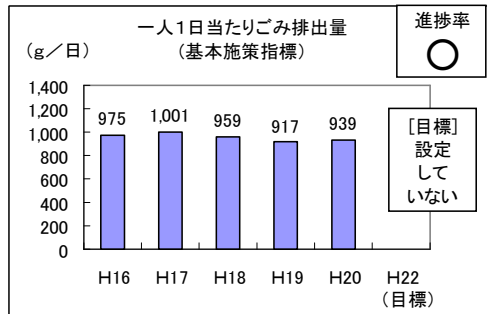
政策4-1 循環型社会の形成と生活環境の向上

■取組の成果と課題

記載内容については現時点の案ですので、今後変更の可能性があります。イメージとしてお取り扱いください。

(1) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進

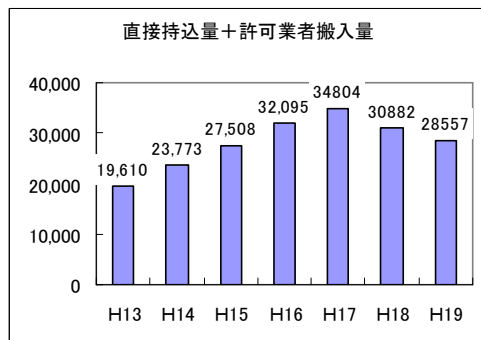
施策名	市民との協働によるごみの減量化の推進 (施策ID: 4111)			
めざす姿	分別収集が進み、資源ごみの有効活用による廃棄物の減量が図られている。			
成果	・平成16年度時点より、一人当たりごみ排出量については減少、資源化量及び資源回収量については増加しています。			
課題	・廃棄物処理センターの更新が当初計画より遅れたことありますが、平成20年度末の竣工を契機に、さらなる多種分別化・リサイクルへの取り組みが必要です。			
評価区分	A (順調)	取組	○ (想定どおりに実施)	成果 ○ (目標値どおり)



【協働による主な取組】

- ・家庭用ごみ袋の配布
- ・有価物の集団回収

施策名	事業者責任の明確化と連携強化 (施策ID: 4112)			
めざす姿	事業所内での資源化分別が徹底され、事業系ごみの減量化が図られていること。			
成果	・成果指標としている事業系一般廃棄物処理量については、一般廃棄物収集運搬許可業者の搬入量のみでは増加していることとなるが、制度の移行期であり、市民(事業者)搬入量との合算では、着実に減少しています。			
課題	・制度の移行に重点を置いているが、多量排出者指導をあわせて実施していくことが必要です。			
評価区分	A (順調)	取組	○ (想定どおりに実施)	成果 ○ (目標値どおり)



【協働による主な取組】

- ・ペットボトルの店頭回収

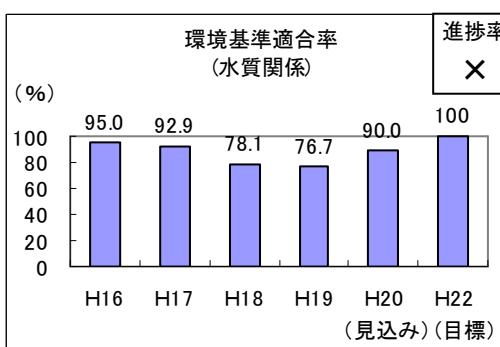
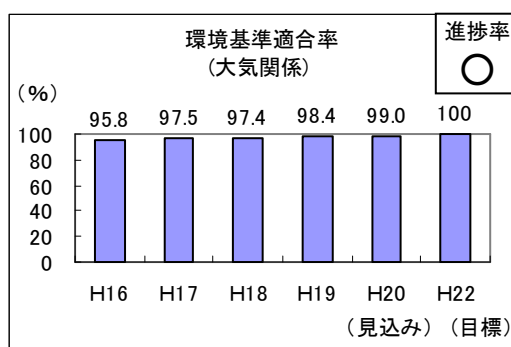
(2) 廃棄物等の適正・効率的な処理の推進

施策名	効果的・効率的な収集体制の整備 (施策ID: 4121)			
めざす姿	合理的な収集システムを取り入れることにより、時代のニーズにあわせた適正かつ市民サービスの向上にむけた収集体制が構築されていること。			
成果	・収集量については、僅かではあるが減少してきています。			
課題				
評価区分	A (順調)	取組	○ (想定どおりに実施)	成果 ○ (目標値どおり)

施策名	廃棄物処理施設等の整備 (施策ID: 4122)			
めざす姿	適正処理に必要な施設が整っていること			
成果	・一般廃棄物の中間処理施設として、新たにペットボトルの圧縮梱包処理、容器包装プラスチックごみの圧縮梱包処理が可能となり、資源循環施策が実施できます。			
課題				
評価区分	A (順調)	取組	○ (想定どおりに実施)	成果 ○ (目標値どおり)

(3) 環境保全の充実

施策名	生活環境保全対策の推進 (施策ID: 4132)			
めざす姿	すべての環境媒体において、環境基準が達成できている。			
成果	・大気関係や騒音関係においては、目標値を達成することが出来ました。			
課題	・水質関係においては、目標値より若干悪化する傾向がみられた。まだまだ生活排水による影響が大きいことが考えられます。			
評価区分	B (手段に課題)	取組	○ (想定どおりに実施)	成果 △ (目標値に未達)



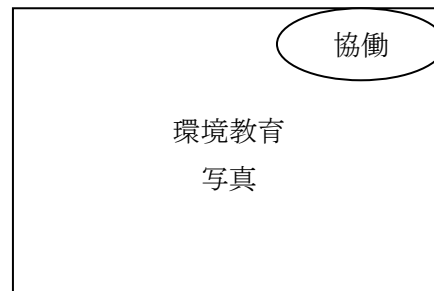
【協働による主な取組】

- ・八尾市グリーン配送推進協議会 (市内の企業等に、低公害者での配送 (グリーン配送) を広めるための啓発等を行う。平成 20 年度より 3 年間、国土交通省の天然ガス車普及促進モデル地域の指定を受け、モデル事業に取り組む。)

施策名	市民参加の環境教育・学習の推進 (施策ID: 4133)			
めざす姿	すべての学校や地域で環境教育や環境学習に取り組まれていること。			
成果	<ul style="list-style-type: none"> 市立幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校のすべてにおいて環境配慮の取り組みを広げることができました。各学校園に取り組み結果をまとめた冊子を配布することで、それぞれの刺激になっています。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会との連携が不十分。 			
評価区分	A (順調)	取組	◎ (想定以上に実施)	成果 ◎ (目標値を超過)

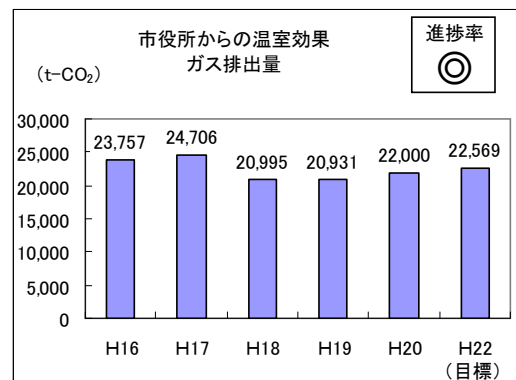
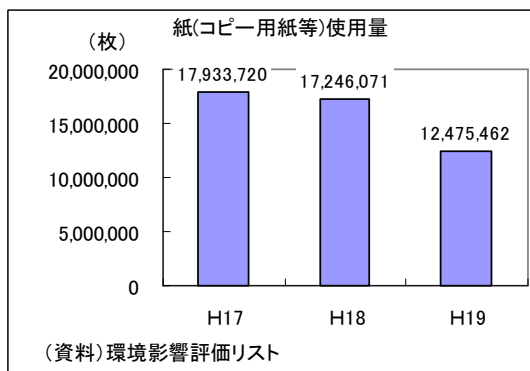
【協働による主な取組】

- 環境教育支援事業
- 環境配慮の取り組み支援事業（環境配慮の取り組みの優秀校を表彰）
- 環境教育支援事業（長瀬川水辺づくり推進協議会による活動）



▲八尾北高校の第二グラウンドで八尾北高校及び周辺小学校や地域の方々の協働によるピオトープづくり。

施策名	行政における環境保全活動の率先推進 (施策ID: 4134)			
めざす姿	全職員が環境保全活動を事務事業の中で常に改善・推進していること。			
成果	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年3月に KES 環境マネジメントシステム ステップ2の認証を取得し、全庁的に環境改善活動を PDCA サイクルを用いて、推進することができました。また八尾市役所の温室効果ガスの排出量を削減することができました。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> 職員一人一人の環境への意識向上を図るため、研修や情報発信に努力する必要がある。また各所属における事務事業に係る環境改善の取り組みを PDCA サイクルを用いて、進めることが今後の課題です。 			
評価区分	A (順調)	取組	◎ (想定以上に実施)	成果 ◎ (目標値を超過)



■取組結果のまとめ

- ◎ごみに関しては、環境保全意識の高まりや、ごみの分別や集団回収の定着などにより、家庭ごみ、事業所系のごみとも減量が進みました。廃棄物処理センターの更新(建替、平成20年度予定)により、今後さらなる取組を進めていくための基盤も整いました。
- ◎生活環境に関しては、大気や騒音などの生活環境が改善しました。一方、生活排水により、一部の河川における水質は悪化しています。
- ◎市民団体等の活発な活動もあって、環境教育が活発に行われています。
- ◎行政における環境改善活動も定着し、温室効果ガスの削減など成果をあげています。

《評価結果一覧》

施策ID	施策名	評価区分	取組	成果
4111	市民との協働によるごみの減量化の推進	A	○	○
4112	事業者責任の明確化と連携強化	A	○	○
4121	効果的・効率的な収集体制の整備	A	○	○
4122	廃棄物処理施設等の整備	A	○	○
4131	環境総合計画の推進	—	—	—
4132	生活環境保全対策の推進	B	○	△
4133	市民参加の環境教育・学習の推進	A	◎	◎
4134	行政における環境保全活動の率先推進	A	◎	◎

市民懇談会からのコメント

- 人口 20～30 万人の都市は、環境配慮の観点からも最適な人口規模であり、そうした特色を生かした総合的な環境配慮のビジョンを打ち出していくことが必要である。
- 環境配慮を進めていくため、ものづくりのまちである特色や蓄積を活かし、様々な環境配慮技術が活用できるとよい。

資料3のコメントは、
この部分に掲載を予定しています。